



北アルプス広域連合

●北アルプス広域連合広報紙●2018年10月19日発行
●北アルプス広域連合●長野県大町市大町1058-33
北アルプス市町村会館内 TEL. 0261-22-6764
E-mail: kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

北アルプス遊・交・学

<http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/>

vol.78

平成30年8月から ごみ処理の広域化を 開始しました



平成28年から大町市平源汲地区に建設を進めておりました、一般廃棄物処理施設「北アルプスエコパーク」が7月末に完成し、8月から本格稼働しました。

新たな施設は、最新の技術を駆使し、長期にわたり安定した焼却処理により、環境への負荷を最小限に抑える設備を備えています。

また、ごみ焼却に伴う熱エネルギーの再利用や、燃焼ガス冷却水に場内排水を再利用することに加え、リサイクル推進施設や環境学習施設を併設するなど、環境に十分配慮した安心安全な施設となっております。

主な内容

- 広域連合議会だより
- 平成29年度決算について
- 広域消防の活動紹介
- 広域施設行事紹介
- イベントカレンダー



人口と世帯 北アルプス広域

(平成30年9月1日現在 長野県調べ)

人 □ 57,590人
世帯数 22,783世帯

5月定例会開催

平成30年5月21日に5月定例会が開催されました。
5月定例会では報告案件5件、事件案件1件、条例案件3件、予算案件1件について上程し、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

議会組織について

5月定例会では松川村議会議員及び小谷村村議会議員の改選により、広域連合議会議員の構成が新しくなりました。
また、副議長の選挙が行われ、副議長に平林寛也議員が当選されました。

専決処分の報告について

◇介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部を改正する条例制定について
◇消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例制定について

平成29年度補正予算

▼一般会計（第6号）

▼介護保険事業特別会計（第5号）

▼老人福祉施設等事業特別会計（第5号）

▼平日夜間救急医療事業特別会計（第3号）

▼介護老人保健施設事業特別会計（第5号）

事業確定及び事業実績による係数整理

財産の取得について

高規格救急自動車1台の取得

条例の制定・改正について

◇大北福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
◇一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例制定について
◇介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成30年度補正予算

▼一般会計（第1号）

白馬リサイクルセンター資源物受入業務委託料への組み替え、人事異動による給料・手当等の減額が主なもの。

一般質問（要旨・抜粋）

津滝 俊幸 議員（白馬村）

問

消防車両等の配備及び人員配置は地域の実情や人口に見合っているか。

答

総務省消防庁から示されている消防力の整備指針を基準とするともに、管轄地域の実情に即して長期にわたる計画を策定し、防災機動力の維持向上に取り組んでいる。

問

通信指令システムのデジタル化運用についての自己検証の内容は。

答

従来のアナログ無線の不感地域を極力解消するため、大町市鷹狩山及び小谷村中土の立山に山頂無線基地局を整備した。これにより交信区域が格段に広がり、ほぼ管内全域にわたり不感地域が解消され、大規模災害に際し有効な通信手段が確保できたと考えている。

問

ドクターヘリ要請の仕組みや利用料金、ヘリポート整備の対応は。

答

要請に至る過程は3つある。1つ目は指令室において通報内容をキーワード方式にて的確に判断し、必要に応じ救急車と同時にドクターヘリの出動を要請するケース。2つ目は救急隊が傷病者の状態を観察した後に要請するケース。3つ目は病院から搬送依頼を受けるケース。医師の診察に係る医療費以外は傷病者の負担はない。

ヘリポート整備については、大町市22箇所、池田町7箇所、松川村4箇所、白馬村14箇所、小谷村13箇所計60箇所がランデブーポイントとして定められている。安全が確認された空地をランデブーポイントとして使用するなど、新たなポイントも適切な場所に整備を進めていく。



問 今後のサイクルツーリズムへの受け入れ体制、案内看板やインフラ整備は。

答 毎年開催されている、アルプスあづみのセンチュリーライドや、北アルプス山麓グランツォーリズムに対する需要の大きさを実感している。一昨年度スタートした連携自立圏の仕組みも活用して、サイクルツーリズムの積極的な推進に力をつくし、交流人口を増やす取り組みを強化していく。

和澤 忠志 議員（池田町）

問 高齢者の慢性的低栄養の実態と解消に向けた取り組み状況は。

答 地域支援事業の一環として市町村が実施主体となり地域の実情に応じて実施することとしている。例えば池田町においては、従前より保健事業と連携して、特定健診により、貧血等の恐れがあると判定された方を対象に、保健師、看護師、栄養士など専門職が個別に栄養指導を実施している。

問 認知症初期集中チームの立ち上げの背景と業務内容、今後の課題については。

答 国の定める認知症施策推進5か年計画に基づき、本年4月までに全国の市町村に設置することが義務づけられている。

基本的には、市町村ごとに設置することになるが、専門職種の確保や地理的条件等を勘案して関係市町村との協議により、北アルプス連携自立圏協約に基づき、共同設置することとなった。支援チームの役割として、認知症の専門医との連

携のもと、チームが集中的に関わり、概ね半年間に専門医の受診や介護サービスの利用につなげることにした。

世帯の状況等の変化に伴い、認知症状の進行による心身状況の悪化が、周囲にわかりにくいケースの増加も危惧されることから、引き続き地域全体で高齢者を見守る体制づくりを推進していく。

問 未就学児眼科屈折検査事業を連携自立圏の事業に取り入れた背景は。

答 子どもの視力は一般に、生後急速に発達を続け6歳までにはほぼ完成される。

この事業では、屈折検査装置を活用して未就学児を対象とした検査を、3歳児健診の折や保育園、幼稚園における健康診断時に行う。早期の異常発見、早期の治療につなげ、就学までに正常な視力に近づけることを目的としている。

連携自立圏の事業として実施するメリットとして、機器導入費用など市町村ごとの経費負担を軽減できること、検査スケジュールを調整しながら検査を行うことで機器の有効活用が図られること、データ共有による圏域全体の状況を分析できることなどがある。

大厩 富義 議員（大町市）

問 広域観光推進に向けた事業推進体制と情報発信の具体策は。

答 圏域内の観光交流を促進するため、5市町村の共同事業として、信州まつもと空港を活用して企画される、北アルプス地域への旅行商品に

対して助成を実施している。昨年度は福岡からの誘客活動を展開し、700人を超えるお客様を当圏域内に呼び込むことができた。

市町村職員が現地の旅行会社に対して旅行企画を働きかける際に、当圏域への旅行商品の造成とともに、広告宣伝経費に対し助成を行い、現地からの情報発信に努めている。

問 各市町村の観光事業が、連携により相乗効果が出るような取り組みは。

答 圏域内外で連携を強化し、観光誘客を図ることは、当圏域全体の観光振興や交流人口の拡大に結び付くと認識している。県、市町村をはじめ、観光振興団体との広範な連携のもと、広域的な連携の橋渡し役を務めていきたい。

問 介護、医療、生活支援、介護予防の連携は具体的にどのようにしていくか。

答 第7期介護保険事業計画においては、介護、医療、生活支援、介護予防等の連携により地域ぐるみで支援が必要な高齢者を支える、地域包括ケアシステムの構築を基本目標に掲げている。

地域ケア会議の開催により、個別の困難事例等の支援を通じて地域支援ネットワークを作り、自立支援に向けたサービス調整を通じて地域課題の把握を行う。地域ケア会議で地域ごとに蓄積された解決方法のノウハウを共有するとともに、解決できない共通の課題については、市町村や広域連合での検討や事業を通じて、介護基盤の整備を進めるほか、介護保険事業計画等に位置付け、施策として具体化するこ

議 会

8月定例会開催

平成30年8月定例会が8月21・22日の2日間にわたり開催されました。

8月定例会では、人事案件2件、条例案件1件、決算案件6件、予算案件6件について上程し、それぞれ原案どおり認定・可決されました。

広域連合の組織に関すること

去る8月5日執行の白馬村長選挙により就任した、下川正剛氏の副広域連合長への選任について同意されました。任期は村長任期と同じです。

また、監査委員として、松川村の川上雅嗣氏の選任について同意されました。任期は9月1日から4年間です。

なお、本定例会では、新たに白馬村の加藤亮輔議員

が広域連合議員に選出されました。所属委員会については広域連合議会申し合せにより、福祉常任委員会委員に指名されました。

平成29年度決算状況

各会計の前年度決算額と前年対比は下記のとおりです。

平成30年度補正予算

▼一般会計（第2号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正、災害復旧等に関する土木事業量の増加見込による土木事業費の増額

▼ふるさと市町村圏事業特別会計（第1号）

▼介護老人保健施設事業特別会計（第1号）

市町村名 及び氏名（敬称略）		所属委員会	総務常任委員会	福祉常任委員会	議会運営委員会	ごみ処理特別委員会
大町市	勝野 富男【議長】		●			●
	高橋 正			●	○	◎
	佐藤 浩樹		○			●
	大和 幸久		●			●
	松島 吉子			●		●
	二條 孝夫【監査委員】		●			●
	大厩 富義			○		●
池田町	那須 博天		●		◎	
	和澤 忠志			●		
	薄井 孝彦			●		
松川村	平林 寛也【副議長】		●		●	
	矢口あかね			●		
	大和田耕一		●			
白馬村	北澤禎二郎		◎		●	●
	津滝 俊幸			●		○
	加藤 亮輔（新）			●		●
小谷村	宮澤 正廣		●		●	●
	猪股 充弘			◎		●

※（新）：新たに選出された議員
※ ◎委員長、○副委員長、●委員

（平成30年8月21日現在）

▼平日夜間救急医療事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正

▼介護保険事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正及び過年度国庫負担金、県費負担金、支払基金交付金、市町村負担金の精算などによる増額

▼老人福祉施設等事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正など

会 計 名	歳出決算額	対前年度比
一般会計	48億3551.9万円	190.4%
ふるさと市町村圏事業特別会計	1431万円	△88.0%
介護老人保健施設事業特別会計（虹の家）	2億9233.2万円	13.2%
介護保険事業特別会計	66億4851万円	2.1%
平日夜間救急医療事業特別会計（急病センター）	1766.6万円	3.3%
老人福祉施設等事業特別会計（鹿島荘・ひだまりの家）	2億38.1万円	△19.3%
総 計	120億871.9万円	26.6%

（注）各会計の合計額と総計欄の額とは、千円未満の調整により差異があります。

次号では、11月・2月定例会についてお伝えします。



平成29年度広域連合各会計の決算について

一般会計（広域事務局、北アルプスエコパーク、広域消防、葬祭場他）

■議会費 議会開催のための費用

■総務費 広域事務局の運営費

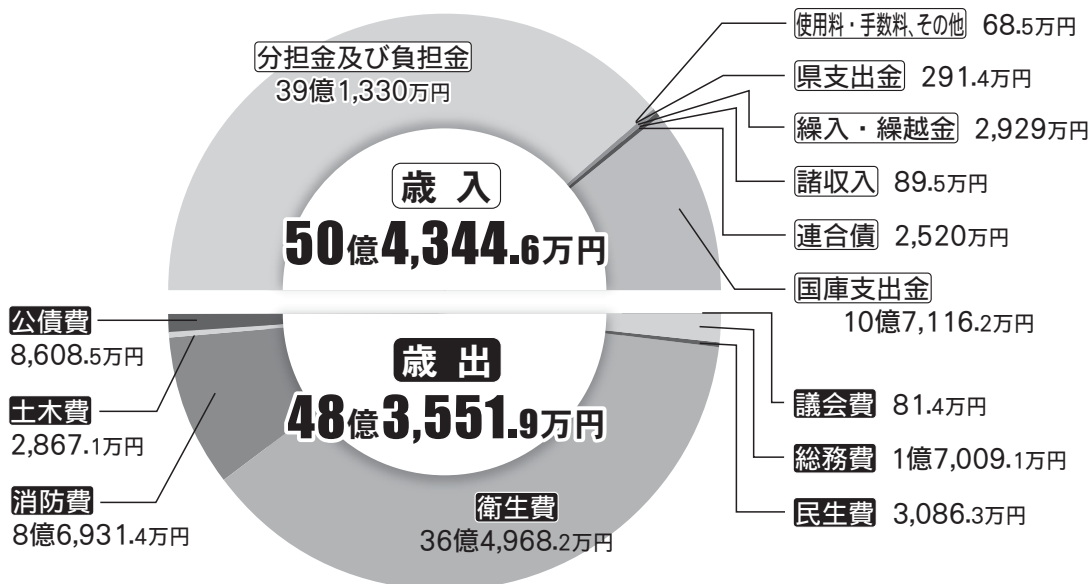
■民生費 福祉施設等建設補助

■衛生費 葬祭場運営費、ごみ処理広域化事業費

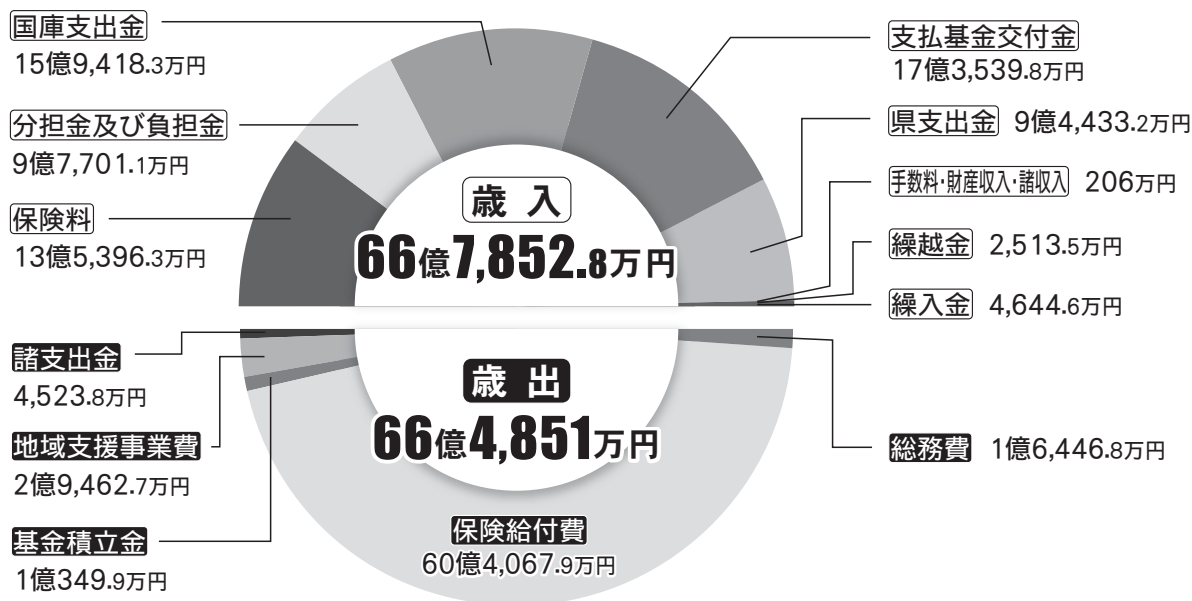
■消防費 消防救急業務運営費

■土木費 市町村が行う公共土木工事設計監理経費

■公債費 地方債償還金



介護保険事業特別会計



ふるさと市町村圏事業特別会計

■歳入 (単位：万円)

財産収入	180.0
繰入金	1,171.2
繰越金	338.2
諸収入	18.0
合計	1,707.4

■歳出 (単位：万円)

ふるさと市町村圏振興事業費	1,431.0
合計	1,431.0

介護老人保健施設事業特別会計

■歳入 (単位：万円)

療養介護費収入	25,424.8
繰越金	757.9
謝収入・財産収入・寄付金	155.8
繰入金	3,426.2
合計	29,764.7

■歳出 (単位：万円)

介護老人保険施設事業費	29,233.2
合計	29,233.2

平日夜間救急医療事業特別会計

■歳入 (単位：万円)

使用料・手数料	391.8
分担金・負担金	1,141.2
繰越金	300.4
諸収入	5.0
県支出金	128.0
合計	1,966.4

■歳出 (単位：万円)

総務費	1,766.6
合計	1,766.6

老人福祉施設等事業特別会計

■歳入 (単位：万円)

分担金・負担金	16,685.8
サービス収入	3,613.2
繰越金	1,436.4
謝収入・財産収入・寄付金等	88.4
県支出金	40.3
合計	21,864.0

■歳出 (単位：万円)

民生費	18,554.2
公債費	1,483.9
合計	20,038.1

広域消防だより

緊急時に備えて車両整備を行っています

4月13日に南部消防署の指令車、8月27日に大町消防署高規格救急車が配備されました。

新指令車は災害現場において指揮に当たするため、後部には指揮台等が搭載されており、最大乗車人員が7人になりました。



高規格救急車(救急2号車)は、車両全面に「再帰性に富んだ反射材」を使用し、特に車両後部には「シエブロン・マーキング」を採用して、万が一車両の電源が失われた場合でも、救急車の存在を示すことで被追突事故の防止を図っています。

今後は災害活動だけではなく、様々な場面で幅広く活躍することが期待されます。

信州ドクターヘリ

ドクターヘリとは、医療機器や医薬品を装備し、医師、看護師が搭乗して救急現場等に向かい、いち早く救命治療を行う専用のヘリコプターです。

信州ドクターヘリは、平成17年から運用を開始し、平成23年からは2機体制となり、信州大学病院の松本機は主に中南信を、佐久機は東北信をカバーしています。

要請は直接住民からはできず、消防署又は医療機関からのみ可能です。皆さんから119番通報された際、重症度が高いと疑われるキーワードにより、通信指令室

から要請します。また、救急隊員が重症と判断した場合も、要請することがあります。

ヘリの料金は無料ですが、通常程度の医師往診料がかかりますので、ご理解をお願いします。

なお、それぞれホームページがありますのでご覧下さい。

●信州ドクターヘリ松本

<http://www.shinshu-doctorheli.jp/>

●信州ドクターヘリ佐久

<http://www.sakuhp.or.jp/ja/center/>

テレホンガイドが利用できます

火災発生時にはテレホンガイドで災害情報を確認できます。
119番への問い合わせではなくテレホンガイド(22-0219)をご利用ください。

消 防

11月9日は
119番の日です

「119番の日」は、消防への正しい理解と認識を深め、防火防災意識の高揚を図ることを目的として昭和62年に制定されました。
火災や救急など、いざという時には落ち着いて正確な119番通報をお願いします。

119番5つのポイント

1. 「火事です。」又は「救急です。」とはっきり。
2. 住所は正しく、市町村から番地まで。
3. 火事・事故等の状況など、何が（誰が）どうしたのかを判りやすく。
4. 通報者の氏名・連絡先を。
5. 自身の安全が第一です。



※聴覚及び音声言語に障害をお持ちの方へ
FAX 119・メール 119 通報の利用登録は、随時受け付けています。詳しくは、北アルプス広域消防本部のホームページをご覧ください。

福祉施設

鹿島荘

地域住民の皆さんと
納涼祭をおこないました

8月8日に大新田町との共催による納涼祭を開催しました。

大新田町の皆さん、福祉事業の関係者など約400人が集まり、炭坑節ややまびこ音頭に合わせて盆踊りを行い、焼きトウモロコシなどの食べ物の屋台や、輪投げ、射的で楽しんでもいただきました。

祭り気分も盛り上がりつつ来たころ、昨年に引き続き松川響岳太鼓子供会の皆さんから勇ましい、迫力ある演奏をしていただきました。
また、この日のために3日間ボランティアに来ていただいていた仁科台中学校の生徒の皆さんに入所者の介助をしていただき、入所者たちは大変喜んでいました。



最後に職員による打ち上げ花火で納涼祭の幕を閉じましたが、地域の幅広い年代の皆さんにお越しいただき、入所者との楽しい交流ができました。



平成30年8月から大北福祉会館の名称が
「北アルプス市町村会館」へ変更となりました。

急な病気で困ったら…

医師・看護師が電話相談にもお答えします！

北アルプス平日夜間小児科・内科急病センター

TEL 0261-26-6199

診察日時：月曜日～土曜日 午後7時～午後9時

住 所：大町市大町1601-2 フレンドプラザ内【大町市文化会館のとなり】

まずは
お電話ください



北アルプスエリア Winter Season EVENT CALENDAR 【市外局番 0261】

詳しくは、各市町村または各市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。

10月	10月20日(土)	紅葉の雨引山トレッキング 松川村観光協会 ☎62-6930	山頂は、松川村・大町市・木崎湖が一望に見渡せる絶景ポイントです。楓やダンコウバイの紅葉を眺めながら、片道2時間半ゆっくり歩きます。
	10月20日(土)	白馬八方尾根 流星群観察会 白馬観光開発(株)八方営業本部 ☎72-3280	オリオン座流星群の観察会&講習会(要予約)
	10月27日(土)	北アルプス山麓 りんごの小径ウォーキング 松川村観光協会 ☎62-6930	ちひろ公園を出発し、清流乳川の遊歩道からリンゴの小径を通り、6km歩きます。途中りんごのもぎ取りを行います。
	10月27日(土)	第14回安曇野まつかわ秋祭り“収穫祭” 松川村役場経済課商工観光係 ☎62-3109	実りの秋に感謝し、松川産の米や農産物の安全・安心・美味しさをPRし、村の農産物を販売します。
	10月27日(土)～ 11月4日(日)	信州安曇野松川村新そば祭り 松川村観光協会 ☎62-6930	昼夜の寒暖差が大きい松川村では、北アルプスの冷たい湧き水を使いそば打ちをしています。国産そば粉のみを使用するなど、6店舗それぞれのこだわりの味をご賞味下さい。
	10月28日(日)	白馬deハロウィン2018 白馬deハロウィン実行委員会 ☎72-5055	トリックアート スタンプラリー 抽選会 ほか
11月	10月6日～ 10月28日の土日	白馬八方尾根 天空の天体ショー 白馬観光開発(株)八方営業本部 ☎72-3280	星空観察会&講習会(要予約)
	10月6日～ 10月28日の土日	全日本スキー選手権大会 スペシャルジャンプ競技 白馬村スキークラブ ☎71-1170	観戦無料 26日 8:00 ノーマルヒルオフィシャルトレーニング 27日 7:30 ノーマルヒル試合 15:00 ラージヒルオフィシャルトレーニング 28日 7:30 ラージヒル試合
	10月上旬～ 11月中旬	白馬そば祭り 白馬村観光局 ☎72-7100	村内のおそば屋さんで開催
12月	11月3日(土)	2018 松川村 米蔵 日本酒祭り 松川村役場経済課商工観光係 ☎62-3109	松川村収蔵庫では、松川産酒米を保管しており、その米蔵を祝うイベントです。松川産の酒米を使って酒造りをしている蔵元の日本酒を味わうことが出来ます。
	11月23日(金)	国宝仁科神明宮新嘗祭 仁科神明宮社務所 ☎62-9168	農作物の恵みに感謝する行事です。「新嘗」とはその年収穫された新しい穀物のことをいい、舞を奉納し、収穫をお祝いする祭祀のことです。
	10月6日～11月18日 ※10月9日・11月13・14日は除く	あたり新そば祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	小谷村各所で風味豊かな新そばを食べて各お店ごとの秋の味覚をお楽しみください。
平成31年2月	12月中旬	鹿島槍スキー場オープン 鹿島槍スキー場 ☎23-1231	キッズ、ビギナーからエキスパートまで楽しめる豊富なコースバリエーションが人気。スノーパークやキッズパークも充実。
	12月下旬	爺ガ岳スキー場オープン 爺ガ岳スキー場 ☎22-0551	はじめの一步は爺ガ岳で。大人気のトロイカと広く見通しの良い傾斜面はキッズファミリーやグループに最適です。
	2月3日(日)	若一王子神社節分祭 若一王子神社社務所 ☎22-1626	福だるまや縁起物などの出店、宝くじの配布、追難式、福豆まき、子どもたちへのプレゼントなどが行われます。
3月	2月9日(土)	大網の火祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	日本百名山「雨飾山」の麓に広がる大網地区で開かれる、かがり火の炎が雪国の夜を照らす大網の火祭り。
	2月23日(土)	樽池高原 雪の祭典 樽池高原観光協会 ☎83-2515	盛大な打上げ花火がグレンデを彩る、冬のHAKUBA VALLEY最大級のイベント。
	2月11日(月)	あめ市 大町商工会議所 ☎22-1890	古来生活必需品であった塩を売った「塩の市」が転じて「あめ市」になったと言われている伝統的なイベントです。
3月	2月2日・9日 16日・23日 (2月の毎土曜日)	第17回大町温泉郷 夢花火と音の祭典 大町温泉郷観光協会 ☎22-3038	雪景色と澄んだ空に映える冬の花火は予想以上にキレイで和太鼓演奏とのコラボも圧巻です。
	3月15日(金)	国宝仁科神明宮 古式作始めの神事(祈年の祭り) 仁科神明宮社務所 ☎62-9168	伊勢神宮の祈年祭(としごいのまつり)にならって行われている神事で、古くからその年の作柄の豊凶を占う神事として行なわれており、作付けの一大指針とされています。